

**目 次**  
**「臨床薬理」 第 43 巻 第 2 号 2012 年 3 月**

**特別寄稿**

DDS 製剤開発の現状と問題点 .....高田 寛治.....51

**原著**

日本人健康成人男性における MSG203 錠およびパキシル<sup>®</sup>錠（パロキセチン塩酸塩水和物）の単回経口投与後の生物学的同等性の検討—CYP2D6 Genotype による詳細比較—.....内田 直樹ほか...57

**フォーラム**

小児臨床試験に参加した患児保護者の心理に関するアンケート調査.....植山 茂宏ほか...65

**REPORT**

2011 年度日本臨床薬理学会海外研修員報告書—その 1—.....中村 治雅.....73

2011 年度日本臨床薬理学会海外研修員報告書—その 1—.....越坂 理也.....77

**第 32 回 日本臨床薬理学会年会記録**

目次.....81

シンポジウム 2 ヒト組織を用いた臨床薬理学研究の発展.....83

シンポジウム 6 第 10 回 日本臨床薬理学会／日本薬理学会 共催シンポジウム「時間薬理学の到達点」.....95

シンポジウム 15 質の高い薬物治療を支えるチーム医療.....105

シンポジウム 18 臨床薬理と最新治療：アルツハイマー病・パーキンソン病.....119

**医薬品情報**

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 287 ..... 33E

投稿規定..... 35E

**おしらせ**

第 33 回日本臨床薬理学会学術総会予告（2）..... 37E

第 15 回臨床薬理専門医試験要項，第 12 回認定薬剤師試験要項..... 38E

広報委員会からのお知らせ（HP 会員専用ページ予告）..... 42E

編集委員会からのお知らせ（HbA1c 国際標準化）..... 42E

CP&T 誌の 2012 年度購読について 他..... 43E

## PROCEEDINGS

## 第 32 回 日本臨床薬理学会年会記録

日時 2011 年 12 月 1 日 (木)~12 月 3 日 (土)

場所 アクトシティ浜松 (浜松)

会長 渡邊 裕司 (浜松医科大学医学部臨床薬理学・臨床薬理内科)

- シンポジウム 2: ヒト組織を用いた臨床薬理学研究の発展**…………… (座長) 大野泰雄, 熊井俊夫  
 座長のまとめ……………熊井 俊夫ほか… 83  
 1. 聖マリアンナ医科大学病院におけるヒト組織バンクシステム……………竹ノ下(中谷)祥子… 85  
 2. HAB 研究機構とヒト組織供給体制の現状……………鈴木 聡ほか… 87  
 3. 研究利用のためのヒト組織及び細胞の供給……………小 阪 拓 男… 89  
 4. 患者由来細胞を用いたデュシェンヌ型筋ジストロフィーに対する  
 エクソン・スキッピング治療の開発……………齊藤 崇ほか… 91  
 5. 日本人小腸におけるチトクローム P450 (CYP) 分子種の発現……………武半 優子ほか… 93
- シンポジウム 6: 第 10 回 日本臨床薬理学会/日本薬理学会 共催シンポジウム**  
 「時間薬理学の到達点」…………… (座長) 笹栗俊之, 柴田重信  
 座長のまとめ……………笹栗 俊之ほか… 95  
 1. 生体リズムと創薬……………柴 田 重 信… 97  
 2. 分子時計を基盤にした薬物動態の日内変動……………大戸 茂弘ほか… 99  
 3. 生体リズムと薬物有害反応……………藤 村 昭 夫…101  
 4. 降圧薬の時間治療……………上 園 慶 子…103
- シンポジウム 15: 質の高い薬物治療を支えるチーム医療**…………… (座長) 中野重行, 川上純一  
 座長のまとめ……………中野 重行ほか…105  
 1. イントロダクション: チーム医療推進の動向……………川 上 純 一…107  
 2. がん領域におけるチーム医療と薬剤師の役割……………寺田 智祐ほか…109  
 3. 集中治療部における TDM を通じたチーム医療 (感染制御を中心に)……………内藤 隆文ほか…111  
 4. 創薬育薬におけるチーム医療……………石 橋 寿 子…113  
 5. チーム医療に期待するもの……………北 澤 京 子…115  
 6. 質の高い薬物治療を支えるチーム医療の教育……………中 野 重 行…117
- シンポジウム 18: 臨床薬理と最新治療: アルツハイマー病・パーキンソン病**…………… (座長) 永井将弘, 宮嶋裕明  
 座長のまとめ……………永井 将弘ほか…119  
 1. 神経疾患治療薬の開発戦略・開発推進 ―行政の立場から―……………森 豊 隆 志…121  
 2. アルツハイマー病の薬物治療と今後の展望……………宮 嶋 裕 明…123  
 3. 神経疾患治療薬の開発戦略 ―パーキンソン病治療薬開発の観点から―……………森 明 久…125  
 4. パーキンソン病最新治療と今後の展望……………永 井 将 弘…127